

一般質問

堀川 政美 議員



①積極的企業誘致で元気なまちづくりを

問 中山町発展の一方策として、企業誘致による雇用の場の創出が上げられるが、次の3点について伺いたい。

①西部工業団地に進出した企業について、町にこれまでどのくらいの経済波及効果があったのか。また、現在、企業誘致で接触している企業はあるのか。

②役場庁内に「企業誘致促進委員会」を立ち上げるつもりはないか。

③今後、新しい工業団地の造成について、町の考えは。

答 ①平成19年3月から現在まで給食センターを含め7社が進出しています。平成26年度末の進出企業の固定資産税は、用地取得後5年間の免税措置がありま

は正社員56名、契約・嘱託社員等13名、パート等3名であり、このうち中山町民は14名であります。これに伴う事業所経費や従業員的生活需要による一定の経済効果があるものと見込まれます。企業誘致に結び付くような協議等を進めている企業は、現在のところはありません。

②これまで土地開発公社と商工担当で連携を図りながら企業誘致に尽力してきたところですが、今後、限られた職員数の中で日常業務とのバランスなども考慮しながら、現体制の中で誘致活動を行ってまいります。

③世界的な経済情勢、周辺市町における工業団地造成の状況、さらには、工業団地に不可欠な交通網としての国道112号及び458号の将来構想を見極めつつ、限られた予算の中で安心できる福祉、子育て施策等様々な行政課題とのバランスを考慮しながら施策の重点化を図る必要があると考えており、当面は西部工業団地の早期完売に努力してまいります。

②ドッグラン施設の設置について

問 町においても愛犬家が増え、「ドッグラン」を望む声が多く

聞かれるようになったが、河川敷公園の一角に「ドッグラン施設」を整備する考えはないか。

答 「河川敷公園」は、運動施設や修景施設等を主な用途として、町が国から占有許可を受け設置した都市公園「最上川中山緑地」ですが、その区域内に「ドッグラン施設」を新たに設置することは、用地確保や財政的事情により極めて困難であると判断されますし、管理運営体制の構築などの面でも大きな課題があると思われま

鎌上 徹 議員



①住民サービスの充実を

問 町民は、役場に各種手続きや相談等に来庁されるが、その際には最大限の心遣いを持って対応する必要があるのではないかと考える。そこで、次の3点について伺いたい。

①各課にまたがる窓口対応は、現在どのようになっているか。

②窓口対応や挨拶の向上運動を全

ての課で年間を通して実施してはどうか。

③民間会社での職員研修等を定期的に行うことはどうか。

答 ①役場窓口では、例えば、転入・転出や出生・死亡の手続きで窓口に来られた方については、役場庁舎内の関係各課と連携を図り対応しています。同時に、本庁舎以外の他課における必要な手続きを案内し、簡易な申請書をお預かりすることも、特に福祉サービスに必要な住民票・戸籍の証明書なども保健福祉センターで交付できるようにしています。さらには、どこで手続きや相談をしたらよいかわからないといった方が役場へ来庁した場合なども、関係各課と連携を密に取り、できるだけ役場窓口でスピーディにすべての手続きが済むよう処理しているところ

②挨拶に関しましては、これまで課長会議その他、様々な機会をとらえ、職員に挨拶の重要性と意識改革について話してまいりました。「窓口」は単に役場の窓口だけを指すのではなく、町民と接する時の職員一人ひとりが「窓口」であり、そこでの対応が町民の役場に対するイメージ

③ マナー・接遇に関する研修としましては、町が独自で行っている新規採用職員研修における接遇研修及び民間企業主催のビジネスマナー研修があります。その他、村山地域や県が主催する研修においても、職員がマナー・接遇を学んでいます。今後とも、必要に応じて接遇研修等を実施して住民サービスの向上に努めてまいります。

② 町づくりについて

問 スポーツに関する町づくりについて、2点伺いたい。

① 町内のスポーツ団体を一本の柱の元にとり、各団体の横のつながりも作り、町のスポーツ事業をこれまで以上に活発にしていく考えはないか。

② ①の質問を踏まえ、町長の今後のスポーツを通じた人づくり、町づくりの考え、目標は。

答 ①全てのスポーツ関係団体が連携を図れるよう支援を行い、

町の掲げる目標の共有を図りながらスポーツの町づくりを進めて行きたいと考えていますが、その考えを形にしたものが、今年の7月に発足いたしました「中山町スポーツ推進審議会」です。この委員には、体育協会、スポーツ少年団などのスポーツ団体から、また中山中学校、社会福祉協議会などの行政機関から、また山形大学教授やアスレチックトレーナーなど学識経験者の10名で構成されています。このスポーツ推進審議会にスポーツ推進計画及びその施策について、諮問しており、この審議会で答申された計画等により、中山町のスポーツ事業がこれまで以上に活性化されるよう期待しているところです。

② 2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されますが、その目標に向かって、中山町を元気にしたいと考えており、2020年には、県内外に「スポーツの町」とアピールできるように「スポーツを地域資源とした地方創生」をしています。その結果、ゆ・ら・ら・総合体育館を中心とした「元気の里」周辺が、中山町の拠点となるようなハード的施策をは

渡辺 博文 議員



①せせらぎ公園および最上川河川敷利用について

問 せせらぎ公園および最上川河川敷利用について、2点伺いたい。

①せせらぎ公園やその周辺には水場や温泉などがあり、キャンプをするには最適な場所だが、キャンプ場の整備を考えてはどうか。

②各地で開催されている健康マラソンであるが、当町においても開催をしてはどうか。

答 ①キャンプ場を整備するには、キャンプを行う区画の設定や、炊事場などの便益施設及び雑排水対策施設などを新たに設置する必要がありますが、高さやその他制限があり、施設の設置は極めて困難です。また、最上川の増水で公園全体が、昨年、一昨年と連続して冠水した

ことから安全対策も考慮しなければなりません。以上のことから、「せせらぎ公園」周辺でのキャンプなどの野営は、条例で制限された行為以外は、これまでもどおり利用者自らが場所を選定し、自己判断で行っていただきたいと考えています。

② これまで当町では、分団対抗町内一周駅伝競走大会を行ってまいりました。しかし、だんだんと出場者が減り、やむを得ず第50回を節目にその大会を終えることとなりました。それに代わるスポーツ事業については、今年度発足したスポーツ推進審議会の意見等を十分生かしながら、検討してまいります。

② 国の医療関連施策に対する町の対策について

問 平成25年6月の一般質問で、院外処方箋と保険調剤薬局誘致に関する質問をしたが、ここ2年で、国はかかりつけ薬局の普及促進などの施策を打ち出すなど、以前とは状況が大きく変わってきている。そこで、国の医療関連施策に対する町の対策について伺いたい。また、併せて町の国保のジェネリックの処方率についても伺いたい。